

## 事前評価調書

I 事業概要																																																																									
事業名	砂防等事業（急傾斜地崩壊対策事業）																																																																								
地区名	じがみくいき 地神B区域																																																																								
事業箇所	おかざきしすぶちちょう 岡崎市須淵町地内																																																																								
事業のあらまし	地神B区域は岡崎市須淵町に位置し、保全対象に人家7戸を有するがけ高12m、勾配41°の急傾斜地である。 がけ崩れの危険性の高い区域であり、人命を守るため、急傾斜地崩壊防止施設の整備を行う。																																																																								
事業目標	【達成（主要）目標】 ・人家7戸がけ崩れによる土砂災害から保全する。 【副次目標】 ・なし																																																																								
事業費	事業費		内訳																																																																						
	4.6億円		■工事費 4.0億円、■用補費 0.2億円、■その他 0.4億円																																																																						
事業期間	採択予定年度	2026年度	着工予定年度	2027年度	完成予定年度	2033年度																																																																			
事業内容	擁壁工 L=220m																																																																								
II 評価																																																																									
①事業の必要性	1) 必要性	豪雨などによりがけ崩れが発生した際には甚大な被害が発生するおそれがあるため、早急に急傾斜地崩壊防止施設の整備を行い、保全対象を保護する必要がある。 費用便益分析マニュアル(急傾斜事業)に基づき算定したB/Cは5.0で1.0を越えている。																																																																							
	判定	A	A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。 【理由】 がけ崩れから保全対象を守る必要があるため。																																																																						
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>2031</th> <th>2032</th> <th>2033</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・擁壁工</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費(億円)</td> <td colspan="5">2.7</td> <td colspan="3">1.9</td> <td>4.6</td> </tr> </tbody> </table>											2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	合計	工種 区分	調査・設計	←→									用地補償		←→								工事										・擁壁工			←						→	事業費(億円)		2.7					1.9			4.6
			2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	合計																																																														
	工種 区分	調査・設計	←→																																																																						
		用地補償		←→																																																																					
工事																																																																									
・擁壁工				←						→																																																															
事業費(億円)		2.7					1.9			4.6																																																															
2) 地元の合意形成	地元住民及び関係者から急傾斜地崩壊対策事業への要望が非常に高く、合意形成は図られていると判断する。																																																																								
判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。 【理由】 地元住民及び関係者の合意形成が図られているため。																																																																							
III 対応方針																																																																									

<p>事業実施が 妥当である。</p>	<p>事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。</p>
<p>IV 事後評価実施の有無と主な評価内容</p>	
<p>■対象（事業完了後 年目）    □対象外  【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】  —  【主な評価内容】  ・急傾斜地崩壊防止施設や保全対象の状況から事業効果を確認する。</p>	